

# プラネッツ換気システム ファンユニット工事説明書 PL-400DC

- 据付工事を行う前に必ずこの説明書をよく読んで正しく設置してください。
- 据付工事は工事説明書に従い、販売店もしくは専門の工事店が実施してください。

## 安全のため必ずお守りください。

この工事説明書には、安全に正しく据付けていただくために、いろいろな絵表示が記載されています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みになり据付工事を行ってください。

	<b>警告</b>	この表示を無視して誤った据付けをすると、人が死亡または、負傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った据付けをすると、人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
- 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はアースを確実に取付けてください）が描かれています。

### 警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
- 電源コードを使用している場合、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないで下さい。感電やけがをすることがあります。
- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。火災の原因になります。
- アースを確実に取り付けてください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
- 本体各部に直接水をかけないでください。ショート・感電の恐れがあります。
- メタルス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの本造建築物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けてください。漏電した場合、発火の恐れがあります。



### 警告

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。
- 交流100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行ってください。誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。配線工事中は電源コードを抜き、電源スイッチ（電源口×部分）を切り行ってください。
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に据付けないでください。感電および故障の原因になります。
- 本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで、確実に取付けてください。落下により、けがをすることがあります。



## お願い

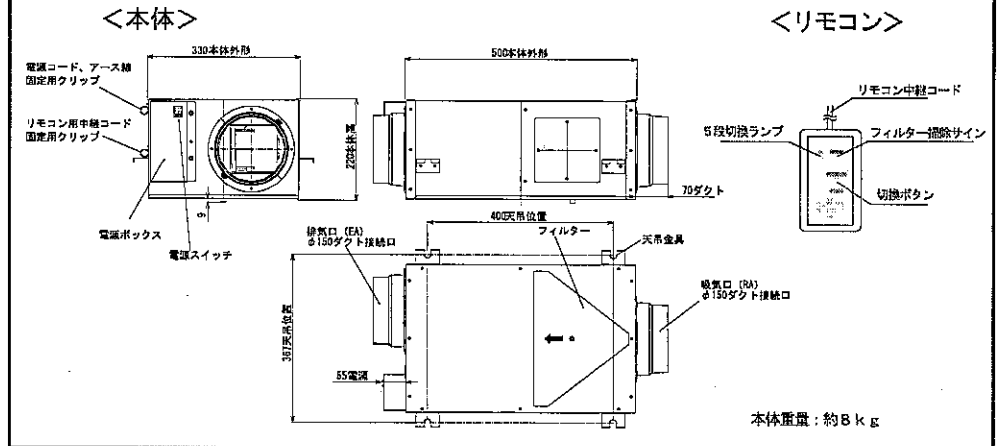
- 浴室など湿気の多いところや、ガスレンジなど換気量を多く必要とするところは、他の換気扇と併用してお使いください。

## 1 開こん

- ダンボール箱から換気ユニットを取り出し、緩衝材・テープなどを取り除いてください。
- 梱包内には右図の付属品が入っていますので確認してください。

電源コード 1本	リモコン 1個	リモコンケーブル 1本 10m
取扱説明書 1部	保証書 1部	工事説明書 1部

## 2. 各部の名称と製品外形寸法



## 3. 据付け

### 据付け場所の選定

- 据付け場所は、ダクト工事、電気工事などの付帯工事が容易に出来る場所を選んでください。
- 本体は、室内で断熱・気密層の室内側に据付けてください。
- フィルターの掃除やダクトの接続及び、メンテナンスが出来る場所を選んでください。

### 注意

- 天井ふところ等に隠蔽する場合は、必ず45°以上角の点検口を設けてください。
- 本体の重量に十分耐えられ、かつ振動の伝わらない丈夫な場所を選んでください。
- 天井吊り金具を取付けてください。（4点支持：現地調達）天井吊り金具を取付ける場所は、必ず下地のあるところにしてください。

### 据付け方法

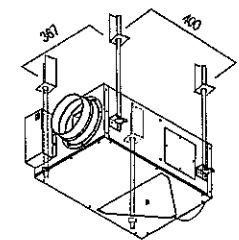
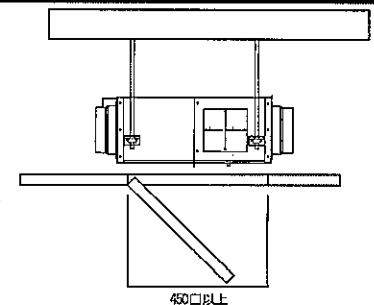
- 据付け方法は、天井吊り金具4点支持です。天井吊り金具類は現地調達ですので、据付け位置に応じてご用意ください。

### 据付け方法

1. 本体を据付ける上部に、天井吊り金具を取付けられるように、予め下地処理を行ってください。右図の寸法で天井吊り金具の支持具を取り付け、吊りボルトを固定します。吊りボルト支持具（アンカー）はM8又はM10をご用意ください。

### 注意

- 天井吊り金具は、取付ける下地材及び許容荷重圏をご確認のうえ、仕様に適合するものを選択し、ご使用ください。
- 2. 天井吊りボルトにナットを予め取付け、本体の天井吊り金具を引掛けます。本体の水平を確認し、ナットを固定させてください。ナット、ワッシャーは現地調達となりますので別途ご用意ください。また、防振用ゴムは各1個（1セット：4個）が付属していますが、必要に応じて別途防振措置を行ってください。



## 4. 電気配線

電源の配線工事およびリモコン中継コードの配線工事は、電気設備技術基準・内線規定に従って正しく行ってください。

また、アースは万一の感電事故防止のため、必ずアース工事を行ってください。

### 電源

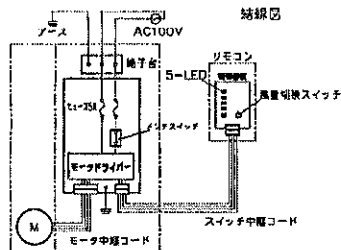
- 電源は単相100V、50/60Hz共通です。
- この換気ユニットは連続運転をしますのでメンテナンスや修理の時以外は電源を切らないで下さい。
- 付属の電源コードを使用する場合は、本体の近くに専用のコンセントを設けてください。

### リモコン中継コードと電源コードについて

- リモコン中継コードは、同梱包してあります。必ずご使用ください。付属電源コードを使わずに、直接電源を本体に接続する場合、下記の電線を現地調達の上、配線してください。又、リモコン中継コードが10mを超える場合は、延長用リモコン中継コード（別売品）をお買い求めください。
  - ・600Vビニル絶縁電線（1V） φ1.6 Cu単線
  - ・600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル（VVVF） φ1.6 Cu単線
- リモコン用中継コードと電源コードを束ねないで下さい。  
ノイズやDC基盤の以上の原因となります。必ず離して接続してください。

### 注意

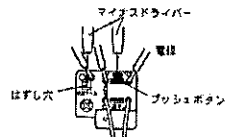
- ▲適用電線以外は、絶対に使用しないで下さい。誤って使用すると、発熱、発火、接続不良の原因となります。
- 本体およびリモコンの電線差込穴への芯線の差込みおよびコネクタへの差込みは確実に十分差込んでください。差込みが不十分ですと、発熱、発火の原因となります。また、電線の差込みは、1本ずつ確実に差込んでください。
- 接続した電線を過大な力で引っ張ったり、ねじったりしますと芯線に傷をつけますのでご注意ください。
- 本体端子台（3P）、リモコンへの接続は、本体端子台（3P）・・・100V側へ付属の電源コードまたは、単線か半田仕上げしたより線をご使用ください。



### 電線のつなぎ方

#### 本体の端子台

- 端子台のプッシュボタンに電工マイナスドライバー（中または小）で押し、電線を引き抜いてください。（アースは、はずし穴を押し）



※電線をはずす際に、ドライバーを強くこじると、プラスチックが破損することがありますので、ご注意ください。

#### リモコン中継コード

- コネクタを持ち静かに下側に引き抜いてください。（モータードライバー側及びリモコン側も同様）



### リモコンの取付けとリモコン中継コードの接続

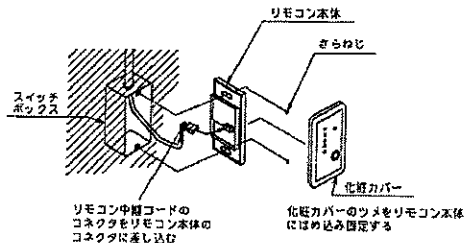
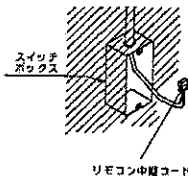
#### 取付け場所

- 日常生活のなかで、操作しやすく、じゃまにならない場所を選び、つぎのようなところはさけてください。

- ・ガスレンジ、コンロなどの燃焼器具の近くで、温度が上がる場所
- ・水しぶきや水滴のかかる場所
- ・直射日光の当たるところ
- ・屋外

#### 取付け方法

1. 付属のリモコンは埋込み専用です。市販の住宅用スイッチボックスを、リモコン取付け位置の壁面に固定し、リモコン中継コードを予め埋設しておいてください。
2. リモコン中継コードをリモコン本体の裏側のコネクタに差込んでください。コネクタは一方向きしか入りません。無理に入れないでください。コネクタは奥まで確実に差込んでください。差込みが不十分ですと、発熱、発火の原因となります。
3. リモコン本体から、化粧カバーをはずして、壁に設置してあるスイッチボックスに取付けてください。
4. リモコンの化粧カバーを本体に取付けてください。



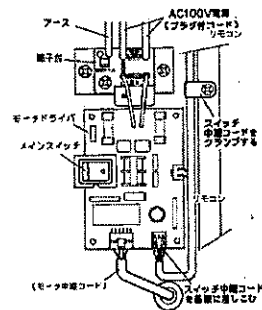
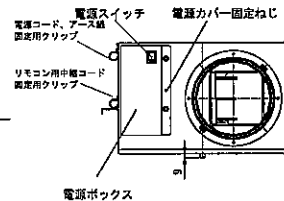
### 本体へのリモコン中継コード、電源コード、アース線の接続

#### 取付け方法

1. 電源カバー固定ねじ1本をはずし、電源カバーをはずします。
2. 本体上部のゴムグロメット右側に、リモコン中継コードを通し、左側に電源コードを通します。端子台に電源コードを右図の通りに接続してください。

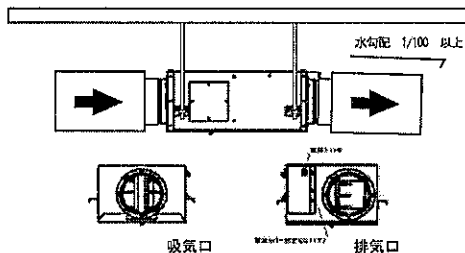
#### 注意

- 電源コードは端子台の《電源》部分に必ず奥まで確実に差込んでください。差込みが不十分ですと発熱、発火の原因となります。端子台の接続箇所はアースの接続も有りますので、絶対に間違わないでください。間違えますと、故障の原因となります。
- 3. リモコン中継コードをモータードライバーのコネクタに差してください。コネクタは一方向きしか入りません。無理に入れないでください。
- 4. アース線を端子台、左側の《アース保護》に差込んでください。（2箇所穴の1箇所を使用）アース工事は電気工事士によるD種設置工事を行ってください。
- 5. リモコン中継コード、電源コード、アース線を本体側にある電線固定クリップを使って固定し、電源カバーを元通り取付けてください。



## 5. ダクトの接続

- ダクトの接続は、下図のように室内からの吸気側を吸気口に、屋外への排気側を排気口に接続してください。接続した後はテープや結束バンドでダクトがはずれないようまた、空気漏れのないように固定してください。

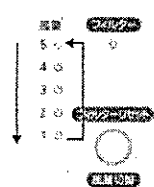


- ダクトは90°より鋭角な極端な曲がり、つぶれ、多回数の曲がりなど圧力損失が増加するような施工はしないよう注意してください。また、排気側ダクトは屋外に向けて水勾配をとるよう施工してください。

## 6. 試運転

- 各工事が終了したら、電源スイッチを入れ、リモコンの切換ボタンで5段階の切換が正常に作動するか確認してください。

電源スイッチを入れると風量はレベル5（強）で運転します。風量切換ボタンを1回押し毎にレベルが下がり、レベル1まで下がると再びレベル5に戻ります。（右図）



- 各部屋の換気量がバランスよく換気されているかを確認してください。

- 試運転を行い、異常がないことを確認後、取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この工事説明書は、取扱説明書と共に大切に保管頂くよう、お客様にご依頼ください。